



令和6年度／11月発行／富山市立東部中学校

## 「生きる力」

生徒指導主事 古川 姉穂

中学校では、全校生徒のみなさん一人一人の声を聴くために、毎月、学校生活さわやかアンケートを実施しています。11月のアンケートは、一つ目の項目を「最近(文化活動発表会や校外学習等の学校行事、普段の学校生活をとおして)、楽しかったことや嬉しかったこと、または心に残っていることを書いてください」としました。その回答で最も多かったのが、「合唱コンクールの練習をとおして、クラスのみんなとの仲が深まり、嬉しかった」でした。また、1、2年生では、「校外学習では、班のみんなと協力して楽しく活動できた」といった回答が目立ちました。加えて「文化活動発表会で、吹奏楽部の演奏を聴いて、『すごかったよ』『上手だったよ』と言ってもらえてうれしかった」や同じく、「美術部での作品制作中に友達と楽しんで制作に取り組めた」と書いている生徒もいました。学校行事で生徒たち自身が、「頑張ってよかった」と感じてくれていることが、何より嬉しいことです。文化活動発表会や校外学習に向けて、本番までの練習や準備、そして事前学習に一生懸命取り組んだからこそ、当日の充実感や達成感を仲間とともに共有できたのだと思います。

この2学期は、特別活動の3本の柱の1つである学校行事を通して、普段とは違う「他者と関わる機会」が、多くあったと思います。自分とは違う考えや感じ方に触れることで、新たな自分を発見した場面もあったことでしょう。友好的に考えを交流するために、慎重に言葉を選ぶことの大切さを学んだ場面もあったことでしょう。時には、失敗を経験しながら、『自分自身に折り合いをつける』ことで、集団の一員としての自覚をもつことができるようになったのではないのでしょうか。そして、そこに居心地のよさを感じた人もいたはずです。こうした経験が、特別活動の3本の柱の二つ目である生徒会活動の本校の目的「会員の福祉増進を図り、学校内外の諸活動に参加協力し、会員の意見を総合し、平和で民主的な学校社会をつくること」を実現することにもつながります。また、中学校生活の基盤である三つ目の柱、学級活動でも自治運営できるよう、各学年生徒会を中心に頑張っています。

こうした特別活動で培われる力こそ、数字では表せない「生きる力」なのだと思います。

他者を思いやり、自分たちで協力して実践していく、そして「自分たちの平和は自分たちで守る」そんな素敵な姿がみられ「自分たちでやり遂げた」という実感を積み重ねることができるよう、私たち教職員も精一杯サポートしていきます。

## 文化活動発表会



11月2日、文化活動発表会を開催しました。

合唱コンクールでは、練習期間に限られる中、どのクラスもリーダーを中心によくまとまり、すばらしい合唱をつくり上げることができました。

各学年の優秀賞は次の通りです。

- 1年2組
- 2年2組
- 3年2組



吹奏楽部の演奏



表彰の様子

## 校外学習

11月8日、1年生は高岡・井波で、2年生は金沢で校外学習を行いました。天候にも恵まれ、充実した1日を過ごすことができました。



1年高岡・井波



2年金沢



### 11月・12月の予定

#### <11月>

- 20日(水) 色覚検査(1年)
- 23日(土) 勤労感謝の日
- 25日(月) 期末考査(～27日)

#### <12月>

- 1日(日) 資源回収
- 4日(水) 産婦人科医による講演会(1・2年)
- 16日(月) 薬物乱用防止教室(3年)
- 18日(水) 保護者懇談会(～20日)
- 24日(火) 終業式